

発行(年2回)
 市津地区社会福祉協議会
 【編集】広報部会
 【事務局】市原市下野 400-1
 【問い合わせ先】
 0436-37-1235

むらたがわ



地域のみんで支える社会福祉

市津地区社会福祉協議会

会長 丸山 喜久雄



みなさまこんにちは

私は、今年度地区社協総会で会長に選任され、この度小出前会長から会務を引き継ぐことになりました。

私達の市津地区は少子高齢化が進み、生活様式が大きく変化し、日常生活に様々な影響がみられるようになりました。地区社協は、これらの問題をしっかりと認識し、買物ツアー、困りごと相談、福祉バザー、今年で最後となる敬老会事業などを通して、地域に住むみんなを支える社会福祉を目指してまいります。

また、新規事業については、今年度の敬老会終了後に市社協や関連団体などと議論を重ね、早めに結論を出したいと考えております。

町会長をはじめ市津地区の皆様には、引き続き暖かいご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

みんなで支え合う「まち」づくり

市津地区町会長会

会長 山本 良一



現在、時代の変化、環境の変化に伴い、地区民のニーズは多岐に渡り様々な地域課題がある中で、市津地区社会福祉協議会が地区民の日常生活支援事業の一環として、昨年十一月から「ふれあい買物ツアー」の運用を始めたことに対し、関係者の努力に深く敬意を表します。

地域社会の中で、人間関係を含め地域力や仲間力が弱体化しつつある昨今、高齢者の命を気遣い見守ってゆく為にも「いきいきサロン」等の開催を通して、生涯にわたる健康づくりの推進の輪が広がってゆくことを希望します。

町会長会としても、安心・安全な「まち」づくりの為に、「支え合うコミュニティづくり」に取り組んでまいります。

小域福祉ネットワーク活動紹介

《フードバンク事業に協力を》

～家庭に眠っている食材ありませんか～

地域の皆様が安全・安心に生活できるよう昨年度は、安心生活見守り支援事業・地域福祉事業を新規に行いました。これらの事業は引き続き活動して参ります。

地域福祉支援事業においては、市東第一小学校を一時避難場所に想定した防災・炊き出し訓練を行い、町会・ネットワーク・学校・PTAが連携強化を図る事ができました。

本年度は、家庭に眠っている食品を地区の皆様より寄付をして頂き、必要としている生活困窮

者、福祉施設へ提供している、「フードバンク事業」に、年二回協力していく予定です。皆様のご協力よろしくお願いいたします。

市東第一小学校区小域福祉NW
 会長 大塩 順子



☆防災・炊き出し訓練☆

《地域が一体で取り組む小域福祉活動》

少子高齢化の波が打ち寄せ、市東第二小学校は三月末をもって閉校になりました。今年度は、新たな活動内容に変わろうとしており、閉校された第二小学校の今後のあり方を含めて考えたいと思っています。

現在、高齢者の方が年々増加しており、地域に合った「安心生活見守り支援事業」を展開することが急務なので、地域内の町会の皆様方と一緒に進めていきます。

学校はなくなりましたが、新たな

気持ちで地域のニーズと優先順位を考えながら、福祉活動を推進していきますので、皆様方の一層のご協力をお願い申し上げます。

市東第二小区小域福祉NW

会長 内山 勝



☆閉校記念碑☆

《更なる福祉の輪を広げよう》

地域の皆様方のご理解とご協力により、当小域福祉NWの念願でありました「安心生活見守り支援事業」を本年三月より実施しています。現在、十二名の方が見守りを希望されています。また、見守りをして下さる「安心訪問員」として、二十九名の方が登録されており、既に六町会七名の方に実働をお願いしています。急激に進む高齢化の中で地域の絆を大切にしつつ、更なる福祉の輪を広げる活動を展開して行きたいと考えています。皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

今年も、茂原街道沿いにマリーゴールド千五百本を植えました。皆様方の癒しの一助になれば幸いです。

湿津小学校区小域福祉NW

会長 近藤 敏子



☆活動の様子☆

買物ツアー催行中!

市津地区社協は、地域住民の日常生活を支えるために、日常生活支援事業の一環として「ふれあい買物ツアー」を毎月第2・第4木曜日に催行しています。

市津地区にお住いの買物に不便を感じている六十五歳以上の高齢者の方を対象に、近隣スーパー等での買物のための送迎バスサービスです。市津地区内の社会福祉施設「清流園」と「グリーンホーム」にご協力をいただき、送迎車両の空き時間を活用してこの事業を行っております。

新規に利用を希望される方は、毎週水曜日午前10時から12時までの間に、地区社協の相談窓口(裏面参照)までお電話下さい。

賛助会員募集

急速に進む少子高齢化の中、地区社協は財源の多くを市社会福祉協議会から補助金・交付金を受けて、様々な事業を行ってきました。しかしながら、高齢化社会で発生する新たな地域の福祉課題・生活課題に取り組むためには、より多くの事業財源が必要になります。

このことから、地区社協独自の「賛助会員・会費制度」を設け、会費を地域福祉活動に限定して使用させていただいております。皆様方には、趣旨をご理解いただき、次の通り賛助会員としてご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

- ・【会費】
年額 一口 千円
(口数は問いません)
- ・【納入方法】
町会長経由で地区社協へ

(注) 町会未加入の方は、相談窓口までお電話ください。

☆ 地区行事予定 ☆

8月20日(日)	市民祭り
9月 2日(土)	防災訓練
9月24日(日)	市津地区敬老会
10月 8日(日)	市民体育祭
10月22日(日)	福祉バザー
1月 7日(日)	市津地区成人式

町会紹介

自然豊かな我が町会

金剛地町会 会長 石田 陽司
当町会は、千葉市、茂原市、長柄町に隣接した房総半島の中央にあり、里山と水田が広がる自然豊かな農村です。百二十六世帯で四百人が暮らしています。

ご周知の通り、今年三月で市東第二小学校が閉校になり、また菅田・金剛地火の見間のバス路線が廃線になり、日常生活に支障をきたす環境変化に直面しています。このような状況の中、地区の諸団体の協力で「デマンドタクシー」、「ふれあい買物ツアー」及び「スクールバス」の運行が確保されました。

また、少子高齢化、核家族化が進む中、二ヶ月に一度市津公民館との共催で「いきいきサロン」を開催しています。各地区から参加頂き、回を重ねることに参加者が増え大好評です。ぜひ、一度参加してみてください。今後は、有害鳥獣対策、高齢者世帯や障害者が安心して暮らせるよう見守りの事業を進めていきます。

郷土の伝承行事を守る

葉木町会 会長 武藤 一美
茂原街道からウグイスラインへ入って二キロ程に位置する葉木町会は、丘陵地に水田が細長く続く静かな田園地帯です。

地区内にある妙見神社において、毎年正月二十二日に豊作と家内安全を祈願する弓射神事(おひしゃ)を行っています。お祓いと祝詞奏上の後、小田神主様から順に五穀を書いた的へ矢を放ち、当たれば各家の神棚へ奉納します。直会(なほらい)は、御馳走が振舞われ、交流の場として和やかな早春の一日を楽しんでいます。

秋祭前の休日、妙見・子安・天王・八坂・道祖各社の鳥居や社殿の注連縄(しめなわ)を氏子総出で造ります。出来た真新しい注連縄を取付けると、御祭神を迎える雰囲気が出て、高揚します。

三十戸余りの小さな町会ですが、皆さんと協力して伝承された大切な行事を守って行きたいと思っております。

団体活動紹介

パラリンピックを目指して

青少年育成市津地区民会議は、青少年の健全育成を図るために多くの活動を行っています。去る2月18日、市津公民館との共催で、市内在住のリオデジャネイロ・パラリンピックのトライアスロン競技で6位入賞された、秦由加子さんを迎えて講演会を開催しました。

関係者など、地区内外からも130名の方が参加され、秦さんのパラリンピックに対する思いを聴きました。参加者から「目標を持って取り組んでいる姿が素晴らしい」、「義足がかっこいい」、「感動をありがとう」などの声が寄せられ、心に残る講演会でした。青少年育成市津地区民会議

会長 深山 均

☆秦由加子さん
講演会の様子☆



子育て頑張りすぎてはいませんか？

子育て家庭支援員は、概ね4ヵ月になるお子様のいるご家庭を順番に訪問しています。子育て家庭と地域・行政をつなぐパイプ役として、地域に根差した子育て支援活動を行っています。市津公民館においては、「市津ひよこクラブ」の運営に参加しています。

季節を感じる工作、手遊び、絵本の読み聞かせ、運動会など、毎回新しい活動を計画しています。心にスペースをつくるため、お友達とのおしゃべり、公園までのお散歩も楽しいですよ。時には、気軽に公民館に遊びにお出かけになってはいかがでしょうか。

子育て家庭支援員
市津支部長 山田能里子



☆ひよこクラブでのお遊戯会の様子☆



困りごと相談（相談窓口）

市津地区社協では、日常生活での悩みごとや困りごと、また地区社協へのご意見等お聞きする相談窓口を開設しております。電話やFAXでの相談も受け付けています。

*日時：毎週水曜日 10時～12時
(水曜日が祝日の場合は前日)

*場所：地区社協事務所<下野公民館の一部>

*住所：下野400-1 *電話・FAX：37-1235

編集後記

「むらたがわ」発行準備に参加し、「地域の活動や各地区の特色、伝統を皆様に伝えたい」という熱意を感じました。

今号発行にあたり、各地区の方々及び各種団体の皆様のご協力により、貴重な情報を寄せていただいたことに感謝します。

これからも地域の活動や面白話などを盛り込んだ、楽しい紙面を作るように努めたいと思います。

編集委員

- ・森山 博政
- ・片岡 善弘
- ・高浦 重晴
- ・鯉坂 省生
- ・弓削田 恵子
- ・間殿 利雄
- ・高浦 栄子
- ・山本 八重子